



カトリック新庄教会 新庄教会報
 〒999-4601 最上郡舟形町舟形 445-1
 Tel.0233-32-0234 Fax.0233-32-0243

vol.2



叶った夢の先に 本間 研二

新庄カトリック教会献堂の日から一年が経ちました。待ち続けていた夢が叶い、私たちは今、夢の先を歩んでいます。

私が新庄教会と初めて出会ったのは神学生時代ですから、今から20年以上も前になります。教会といっても当時建物はなく、日曜日の数時間を間借りして、そこに皆が集まりミサを挙げるというものでした。

初めて行ったミサの会場は新庄駅前の中料理店の二階でした。客の帰った後の部屋を借りてのミサで、テーブルの上が中華料理の油でギトギトだったこと、客の読み散らかしたまんが本を片付けてからミサに与ったことなどを今でもはっきりと覚えています。

それから10年後、神父として山形地区で働き始めて、月2回の新庄でのミサを担当することになりましたが、相変わらず間借りの集会所でのミサは続いていました。私が通った集会所は公民館やホール、旅館やホテルの会議室等ざっと7か所程数えます。公民館やホテルと言えば聞こえは良いですが、館長さんによって対応は天と地程違います。前回まで快く貸してくれた所も、館長が代わり借りられなくなったこともありましたし、ホテルも初めは良いものの、次第に歌はダメ、食べ物を持ち込んでダメ、子供連れはダメと、結局追い出されたこともありました。しかし、長いジブシーのような年月は、私たちに絶望ではなく強さと夢を与えてくれました。「いつか自分たちの教会を持ちたい」という大きな夢を。

そんな待ち続けた夢は昨年叶い、私たちは無我夢中で夢の先を歩み、一年の月日が過ぎました。

私たちの夢が叶った理由(わけ)は、自分たちの教会を持ちたいと

いう夢を信じ、夢をあきらめず、夢を追い歩み続けたからです。しかし、そればかりではありません。夢が現実となった背景には、多くの方々の支えと協力があったことを忘れてはいけません。教会建設資金の多くは新潟教区内外の信徒の方々の支援によるものです。聖堂にある十字架も聖櫃もマリア像も聖水盤も、また多くの備品も全国の教会や修道院、信徒の方々から頂いた物です。また菊地司教様や新潟教区、イエズス・マリアの聖心会の神父さま方のバックアップと力強い支えがなかったならば、新庄教会の献堂はなかったでしょう。そして、それら全ての背後に、私は温かな神の愛を強く感じるのです。

多くの方々の協力と不思議としか思えぬ出来事の数々によって献堂された新庄教会ですが、献堂式がけってゴールではなく、新たなスタートだということを私たちは知っています。

新庄教会は神から私たちに預けられたタラントンです。私たちひとり一人は、神から預けられたこのタラントンを何倍にも増やし神に返さねばならないのです。

何をすることがタラントンを増やすことか。どうすれば増えるのか。その答えは私たちが考え、見つけ出さねばならないでしょう。

献堂一周年の式典は終わりました。これからは叶えられた夢を喜ぶだけではなく、与えられた教会を通して私たちが、いったいどんな御恩返しができるのかが問われているのです。

いつの日か神に「主よ、5タラントンお預けになりましたが、御覧ください。ほかに5タラントン増やしました。」と言える日が来ますように…

献堂一周年を終え、新庄教会は歩みを始めます。



初めてのバザー

新庄教会がスタートしてもうすぐ1年になります。初めてのバザーを行う事になり、私達は何をすればいいかわからなかった事ばかりでした。でも皆さんと話をしてお互いに相談しながらお陰様でバザーらしく行う事ができました。いろんな人の応援もあったからこそ無事に成功に終わり、よかったと思います。最初は心配だったけど、天気も良くなくてそれに人は沢山来てくれるかなと一番心配でしたが、思ったより良い天気にも

ぐまれ沢山の人が来てくれた事がすごく嬉しく、胸がいっぱいになりました。みんなで一生懸命準備したかいがあって多くの品物が売れ、思ったより沢山の人が買って来てくれてすごく嬉しかったです。みんなも喜んでました。初めてのバザーとしては大成功でした。これからもいろいろな事があると思いますが、教会のためにみんなで協力していきたいと思います。神様も守って下さると思うので、私達の小さい力でもあわせれば大きい力になり教会を守ることが出来ると思います。

最後に応援や寄付してくれた皆様に、新庄教会の皆が心から感謝したいと思います。神に感謝。God Bless all of us.

真理

ようこそ 新庄教会へ

新庄教会においていただいたゲストをご紹介します。



2011年8月21日大竹神父が新庄教会にいらされました。

大瀬浩一(49)新潟教区本部事務教区に勤めています。神父になってから21年。1990に司祭になりました。

普通の日曜日のミサに今回初めて新庄教会に来ました。今日、新庄教会に何人ぐらい集まっているのかなと想像しながら来ました。新庄教会には若い人が多くそして子供もいっぱいいて、みんなとても元気でいっぱいパワーをもらいました。これからも教会を大切にしてみんなで頑張ってください。



(小西淳・山形六日町教会牧師)

久しぶりに本間神父様の説教を聞いてパワーを貰いました。

(小西春菜・牧師婦人)

新庄教会は窓から見る景色がとてもきれいです。自然に囲まれている。

(高塚有春里・プロテスタント信徒)

新庄教会はきれいだと思います。プロテスタントとカトリックはあんまり変わらない。



澤崎さん家族(茨城県・那珂教会)

平成22年10月に献堂された新庄教会に当時から訪問したいと思いながら1年弱が過ぎ、お盆休みを機に山形観光かねて家族そろって訪問する事ができました。舟形町に所在し閑静で小高い場所にあります。事前に本間神父様から(ミサは2時だから、1時位においで)言われていたため、1時過ぎに到着すると暑い中私達を待っていてくれました。

ミサが始まるまで、お互い紹介し会ったり教会の中を見て回ったりし、ミサ後BBQや花火、音楽をかけて踊った、夜遅くまで楽しい時間を過ごしました。更に、朝起きると朝飯も準備してくれ驚く事ばかりでした。信者の皆さんはフィリピンの方がほとんどで、冗談混りに神父様やシスターと楽しく信仰を深めていることが伝わってきて、また遊びに(ミサに)来なくなる教会でした。新庄教会の皆さんのご好意に感謝するとともに、皆さま方の上に大いなる祝福が来ることをお祈りしています。また那珂教会へもぜひお越し下さい。(2011-8-14) "神に感謝"

被災地からのお客様

大船渡教会・陸前高田教会の フィリピン人信徒を迎えて



矢口 Peria (新庄教会) = 7月のサマースクールの時に塩田神父様に会いそして大船渡教会からだと聞いて、私の友達を思い出しました。塩田神父様はメモを出してここに名前を書いて下さいと言われて迷いなく私の名前を書きました。三日後に私の友達が電話をくれました。塩田神父様とお話が出来てとてもうれしかったと友達が言っていました。そして友達が近いうちに新庄教会にみんなで行く予定です。9月3、4日に大船渡、陸前高田教会の皆さんが来てとても嬉しかったです。みんなに会えて元気で安心しました。皆は地震と津波を逃れて本当に良かったと思っています。神に感謝。

ヨハネ3:16“神は、実に、その一人子を与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びる事なく、永遠の命を持つためである。”



Mari, Marilou, Marife, Erva, Mirasol, Rosemarie, Peter.

奥山 Marilou (ctic) = 皆さんまとまりがあつていいなと思います。皆さんがいつまでも続けていけるように祈りたいと思っています。もっと沢山の人に来てもらって、どんな事があつても乗りこえられるように祈ります。

菅原 Marife (大船渡教会) = 教会に着いた時に私達を暖かく迎えてくれてとても感謝しました。涙を抑える事ができませんでした。皆さんが用意してくれた食べ物沢山並んでとてもうれしかったです。皆さんの気持ちがとても伝わりました。これからも皆さんずっと仲良く交流が続けていけるように祈ります。

菅原 Erva (大船渡教会) = 私達は新庄教会に行く事とても楽しみにしていました。場所がわからなくて道に迷いました。30分位かかってやっと道がわかりました。最初は台風が

あつて、でも新庄に着いた時に天気が良くなって私達の祈りを神様が聞いてくれてとてもうれしかった。道でシスターが私達に手をふりながら迎えてくれて、そして皆さんも外で待っていてくれました。とても感動しました。温かい気持ちで迎えてくれた事がとてもうれしかった、家族のように感じました。これからこの機会がきっかけで新庄教会、大船渡教会、陸前高田教会が仲良くなれるように。最後に本間神父様と塩田神父様に感謝したいと思います。神父様達のおかげで私達が結ばれてとても感謝しています。そして新庄の皆さん本当に有難うございました。

Mirasol Velez (ctic) = 神様はみんなの願いを叶えて、そしてこれから皆の気持ちを一つにして教会を守ってください。

三浦 Rosemarie (大船渡教会) = こんな大きい教会ができてうらやましいです。私達はなかなか会える事が出来ないけど、いつか大きい教会を建てられるように祈りたいと思います。

森田 Carina (ctic) = 初めて、山形に来て、とてもすばらしい所でびっくりしました。自然に困まれ、来て良かったです。私は以前新庄教会に関わることがありました。地震の被害で新庄教会に避難した、一家族の方達を助け、フィリピンに帰る手続きを手伝いました。おかげさまで無事に帰ることが出来て良かったと思います。



Carina

大船渡、陸前高田の皆さん達を温かく迎えてくれることを見て、とても感動をしました。津波と地震で被災された皆さんにとって、とてもうれしいと思います。新庄教会にいるフィリピンの方達も一緒になってとても楽しいパーティーを開いて沢山の食べ物を作ってくれてとても感動しました。皆さんは温泉にいるときとても疲れてる様子だったんだけど、新庄教会の皆さんに会えてとてもうれしかったと思います。みんな良い笑顔になりました。新庄の皆さん達がとてもすばらしいことをしてみんなに幸せな気分を与えてくれて感動をしました。

お互いに助け合うことは必ずいいことがあると思います。

新庄教会の献堂 一周年記念パーティー

カトリック新庄教会の皆様 2011-10-28

主の平和

秋も深まって参りました。カトリック新庄教会の皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。この度は、献堂一周年のお祝い、おめでとうございます。皆様のご努力と協力の成果をお祝いするのは、とても相応しい事と心からお喜び申し上げます。

新庄教会は、沢山のフィリピン信者と僅かな日本人で創られたユニークな教会です。しかし、先日お邪魔させて頂き、ご親切頂いたときに、新庄教会の結束と相互支援の強さを感じ、感動いた

しました。

これからも、本間神父様の導きの下で、復活した主イエズ様を中心に、ますます宣教と司教の業を発展させられますようお祈り申し上げます。

度々、会員がお世話になっておりますが、この度も一晩お世話になります。どうぞ、よろしくお願い致します。

イエズス・マリアの聖心会

管区長 山田宣明



新庄教会一周年記念パーティーに参加したみんなとっても楽しかったです。急な行事だったんだけど皆まとまっているから良かったと思いました。

丸山ヘルナ



“千原通明神父様、二人のフィリピン人神学生(Edmon Reyes & Michael Hifarva)の皆さんと一緒に新庄教会の献堂一周年記念をお祝いして下さいて有難うございました。”

新庄教会の定番メニュー

Adobong Baboy

(アドボンバーボーイ)

Adobong Baboy(アドボンバーボーイ:豚肉のアドボ)豚肉を酢としょうゆで煮込んだ料理です。とっても簡単!(鶏肉でもできます)酢としょうゆは日本の酢としょうゆではなく、フィリピンの酢としょうゆを使ったほうがいいです。

◎材料

- ・豚肉…330g ・しょうゆ…50ml ・酢…75ml
- ・にんにく…1片 ・ローリエ(月桂樹の葉)…1枚
- ・こしょう(あらびきがおすすめ)

◎作り方

豚肉を一口大かちょっと大きめに切ります。にんにくは皮をむいてつぶします。鍋に材料を全部入れて15分から20分くらいに煮込みます。



◎鍋の中はこんな感じ。

あんまり火が強いと水分が飛んでしまうので、弱火から中火でふたをして煮るといいと思います。(私は一度こがしました…)。あと、途中肉をひっくり返したり混ぜたりして全体に味がしみるようにしました。